

令和2年度 「学校自己評価」 傾向と分析

柏市立大津ヶ丘中学校

1 はじめに

生徒、保護者をほぼ同項目で学校自己評価を行いました。また、教職員による学校運営自己評価も生徒、保護者の項目に照らし合わせて行いました。

この評価結果及び分析結果を本校では、ホームページと学校便り等で公開しております。そして、「自己評価」の狙いは、今後の課題を明確にし、重点目標を検討し、目標を明確にすることにあります。胃結果を受け止め、全教職員で今後の課題を共通理解し、次回の結果で成果が現れるようにしていきます。

2 学校評価アンケート結果（全24項目）大変良い・良いの「%」

(1) 生活面	生徒		保護者		教職員			
	R1	R2	R1	R2	R1	R2		
1 学校生活を楽しく送っている	88.2	89.9	85.3	88.9	95.8	94.3		
2 社会や学校のルール・マナーを守っている	93.9	94.1	89.1	91.2	79.1	83.8		
3 思いやりを持って人と接している	90.7	94.1	90.6	91.6	66.6	86.5		
4 目標を持って生活している	82.3	79.7	64.7	64.5	62.5	59.5		
5 物事を粘り強く取り組むことができる	80.9	81.5	57.5	63.0	29.2	48.6		
6 みんなと協力して活動することができる	90.3	91.2	89.5	92.7	79.2	91.9		
7 積極的に部活動や委員会活動に取り組んでいる	85.4	84.4	83.6	84.7	91.7	89.2		
8 教師は生徒理解に努めている	83.4	86.9	77.5	82.3	91.7	89.2		
(2) 学習面	生徒		保護者		教職員			
	R1	R2	R1	R2	R1	R2		
1 集中して授業に取り組んでいる	82.9	84.9	63.7	66.9	50.0	73.0		
2 家庭学習によく取り組んでいる	62.8	61.3	49.0	45.4	12.5	27.0		
3 課題や学習用具を忘れない	81.7	81.9	63.9	67.8	25.0	29.7		
4 教師のわかりやすい授業展開・生徒の授業理解	84.9	83.8	43.9	44.3	20.9	35.1		
5 教師は一人ひとりの学習支援をしてくれている	81.1	80.9	56.6	61.8	58.3	54.1		
生徒			(3) 公開・地域・環境		保護者		教職員	
重点項目	R1	R2	(保護者・教職員)		R1	R2	R1	R2
1 清掃の取組	90.5	92.3	保護者会・便り・ホームページで提供		77.1	89.1	87.5	100.0
2 時間を守る	92.1	91.2	授業参観や行事の公開		84.5	80.6	95.8	75.7
3 進んで挨拶	86.0	87.6	地域・保護者との連携		73.1	77.7	87.5	83.8
4 歌声活動	83.6	79.1	環境整備・清掃が行き届いている		84.6	89.5	70.9	83.8
(4) 新型コロナウイルスに関する対応について			生徒	保護者	教職員			
			R2	R2	R2			
1 休校中学習課題提示や、諸連絡にしっかりと取り組んだか			86.9	73.0	97.3			
2 感染症対策についてしっかりと取り組んだか			92.3	80.3	89.2			
3 臨時休校でカットされた授業時間の確保に努めたか				68.3	100.0			
4 旅行的行事を、形を変えて行ったのは良かったか			87.1	78.2	97.3			
5 体育的行事を、形を変えて行ったのは良かったか			89.7	87.3	89.2			
6 輝沼祭を、形を変えて行ったのは良かったか			86.4	83.4	94.6			
7 コロナ対策を行いながらの部活動の取組は良かったか			72.2	81.6	83.8			

※数字が斜体になっているところは昨年度より下がった項目。

太字だけの場合は評価が60%未満の項目。

各評価項目の数値を見ていくと全体的に良好な評価を得られました。この結果を基に分析を行いました。

<生活面の分析>

コロナ禍で学校生活に制限がある中「学校生活を楽しく送っている」の項目で約9割が良い以上の評価を得られたのは良かったと思います。ただ、「目標を持って生活している」「積極的に部活動や委員会活動に取り組む」の項目が昨年度より下がっている点は来年度改善が必要です。

<学習面の分析>

ここ数年「家庭学習の取組」が大津ヶ丘中の課題として続いております。学校では、家庭学習の方法を紹介したり課題を出したりしながら家庭学習に取り組むように生徒に指導していますが、各ご家庭でもご協力いただくと助かります。この点は今後も継続して支援していきます。また、「わかりやすい授業」「学習支援」の項目にも課題があります。本年度はコロナ禍で生徒同士が話し合っ進める授業に制限があったため教師主導の授業が多くなってしまったことは確かです。また、学習支援についても工夫が必要と反省しております。この2点は真摯に受け止め今後改善できるように取り組んでいきます。

<公開・地域・連携>

本年度は、コロナ感染症拡大防止のために学校を公開することが出来ませんでした。来年度は、授業参観等保護者が来校できる機会を増やしていこうと思います。

<コロナ感染症に関する対応>

この項目は概ね学校の取組にご理解をいただけたようです。ただ、臨時休校でカットされた授業時間の確保については、学校からの情報提供が足りなかったことを反省しています。学校では、通常週29時間の所、臨時休校明けから毎日6時間授業と6時間目終了の時間から10分間の補習時間を確保し週31時間で授業を行って参りました。現在各教科とも本年度学ばなければならない授業内容については本年度中に確実に終わるようになっております。この点についてはご理解をいただきますようお願い申し上げます。

3 次年度の重点項目

生徒、保護者、教職員の評価アンケートより、三者共通の課題を探り以下のように取り組んでいきます。

(1) 目標をもった生活の充実を図る

- ・目標を明確にし、目標達成のために粘り強く取り組む姿勢の醸成を図る。
- ・委員会活動や行事などを通して、みんなと協力をして活動することや、社会や学校のルールを守る姿勢を構

(2) わかりやすい授業の展開と生徒理解に努める

- ・教師の授業力アップ、教育相談活動の充実。
- ・「深い学び」のある授業の実践。(ICTの積極的な活用)
- ・教材教具の忘れをなくすための指導と、家庭との連携を充実させる。

(3) 家庭学習の計画的な取り組みを推進する

- ・家庭学習の取組方法の指導と家庭との連携を図る。
- ・計画的な学習課題(宿題)の提示を行う。

4 重点項目の具現化

(1) 目標の明確化と、粘り強く取り組む姿勢の醸成

- ・行事や委員会活動で目標を明確にし、活動終了後の反省で自己評価で目標に向けてどのような活動ができた
- ・部活動や委員会活動に目標を持たせ、積極的に取り組む姿勢を醸成する。(全校統一)
- ・全教職員が同じ指導を繰り返し行う。(全教職員)

(2) わかる授業の展開と生徒の授業理解

- ・少人数グループでの話し合い活動を授業に取り入れる。(全教職員)
- ・目当ての提示と振り返りを毎時間行う。(全教職員)
- ・ICTを積極的に活用し、視覚・聴覚からの指導を取り入れる。(全教職員)
- ・教職員の授業力向上のため研修を充実させる。(全教職員)

(3) 家庭学習の計画的な取り組み

- ・家庭学習の手引きを活用し、学習方法について学ばせる。(学級担任)
- ・教育相談を活用し、生徒理解を深めるとともに家庭学習状況の確認を行う。(学級担任)
- ・評価の実施(学級担任)
- ・躓きのある生徒へのアドバイスと補習の実施。(学級担任及び教科担任)